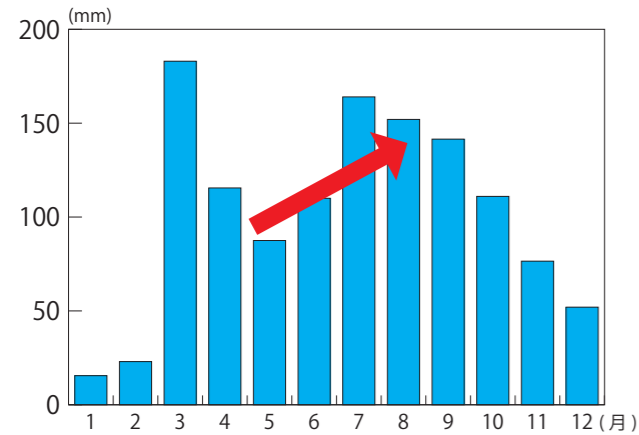
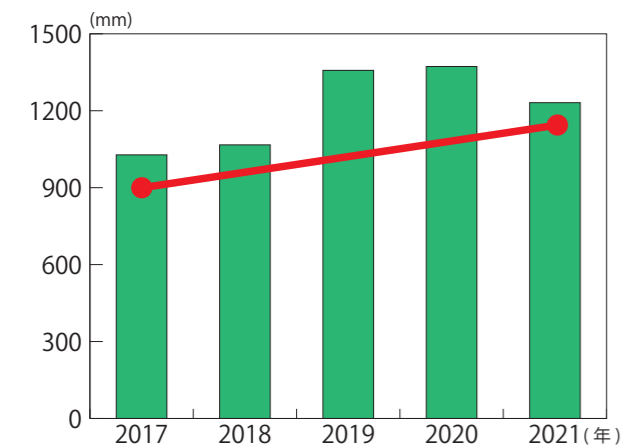


■市内の2021年の月別降水量(津山町野尻)

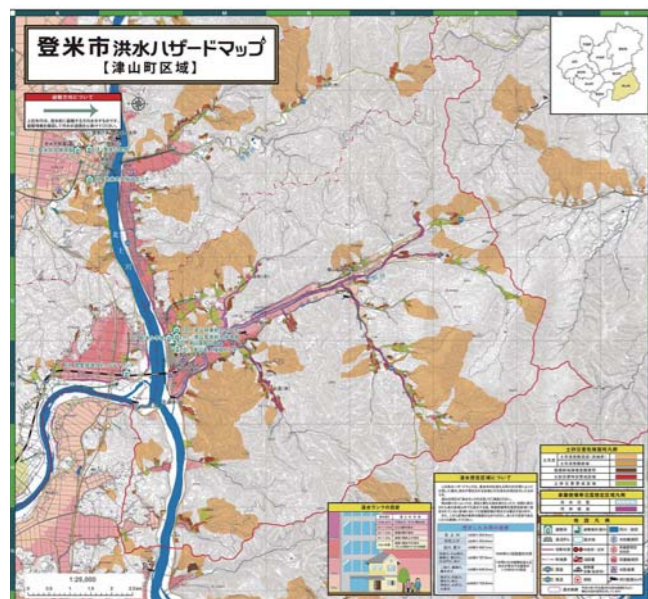


※登米市雨量監視システム

■市内の年間降水量の推移(津山町野尻)



※登米市雨量監視システム



災害時の情報収集手段

市メール配信サービス



市メール
配信サービス

防災、防犯、市の行事などを登録されたメールアドレスに随時配信しています。パソコンや携帯電話などで登録可能です。

市雨量監視システム



市雨量
監視システム

市では、登米町、東和町および津山町に設置した6基の雨量計の情報を公開しています。10分間、1時間ごとの雨量や降り始めからの積算雨量などが確認できます。

緊急告知ラジオ



市内の家庭や事業所に無償で貸与している緊急告知ラジオは最新の防災情報を発信しています。コンセントと電池の両方に対応しており、災害時に停電が起こった場合でも使用できます。緊急告知ラジオは、最寄りの総合支所に問い合わせください。

市洪水ハザードマップ

大雨によって河川が増水し、堤防が決壊した場合に浸水の恐れがある場所(浸水想定区域)を、浸水の深さに応じて色分けしています。また、避難時の心得、過去の水害情報、緊急連絡先や避難場所なども掲載しています。

ハザードマップは全戸配布しており、市公式ホームページにも掲載しています。



洪水ハザード
マップ



令和元年度台風19号津山町南沢川

災害の被害を抑えるために

減災は、災害による被害を最小限に抑えるためにあらかじめ行う取り組みです。普段の生活から意識することで被害を軽減することができます。

災害を引き起こす 大雨や台風

これからの時期は、日本に接近・上陸する台風や、梅雨時期の大雨などによって、大規模な自然災害が発生しやすい季節です。

近年は、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨が頻発。川が急激に増水して堤防が決壊し、道路や住宅に浸水する被害が発生しています。気象警報を発表するような台風や豪雨は、ややもすると命に危険が及ぶ恐れがあります。

令和元年度東日本台風(台風19号)の記録的な大雨は、関東や東北地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。市内では300棟を超える家屋が被害を受け、死者1人、負傷者2人を出す事態となりました。また、雨の影響による土砂崩れや道路の損壊で、通行止めになるなど、市内各所に大きな傷跡を残しました。

災害時は情報が命 正確な速報の入手を

市は、緊急時の災害情報などを市民の皆さんに伝える方法として、「メール配信サービス」を運用しています。登録したメールアドレスに災害発生時の重要な情報をメールでお知らせしており、緊急告知ラジオや屋外放送を聞きのがした人、市外にいる人でも情報を得ることが出来ます。

また、災害から命を守るために、避難場所や自分の身の回りにどのような危険箇所があるのかを、日頃からハザードマップなどで確認しておきましょう。避難に要する時間や今まで気付かなかつた危険箇所を把握するために、実際に避難経路を歩いてみるのも効果的です。家族や地域で声を掛け合い避難することが大切です。

いざというときに身を守るためには、危険を感じたら早めに避難行動を起こせるよう準備しておくことが重要になります。